

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 8 月 9 日 (2007.8.9)

【公表番号】特表 2007-514924 (P2007-514924A)

【公表日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【年通号数】公開・登録公報 2007-021

【出願番号】特願 2006-516310 (P2006-516310)

【国際特許分類】

**G 0 1 D 5/245 (2006.01)**

**F 1 6 C 19/52 (2006.01)**

**F 1 6 C 41/00 (2006.01)**

【F I】

G 0 1 D 5/245 2 0 1 E

F 1 6 C 19/52

F 1 6 C 41/00

G 0 1 D 5/245 X

G 0 1 D 5/245 V

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 21 日 (2007.6.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

非回転輪 (2) と、回転輪 (3) と、回転輪 (3) および非回転輪 (2) の 2 つのレースウェイの間に位置する少なくとも 1 列の転動要素 (4) と、非回転センサユニット (7) および能動部を備えた回転エンコーダ (8) を有する情報センサ組立体とを含む型式の計装転がり軸受 (1) であって、

エンコーダ (8) とセンサユニット (7) とは隙間を空けて分離されており、前記エンコーダ (8) は、非電気伝導性材料製基板 (16) と、この基板に支持された電気伝導性薄層 (17) とを含み、前記基板 (16) は、回転輪 (3) と一体となって回転することを特徴とする転がり軸受。

【請求項 2】

前記基板 (16) は、環状であり、かつ、その全体的な形状がディスクであることを特徴とする請求項 1 に記載の転がり軸受。

【請求項 3】

前記センサユニット (7) が、少なくとも 1 つの誘導センサを含み、及び / 又は少なくとも 1 つのマイクロコイルを含むことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の転がり軸受。

【請求項 4】

前記電気伝導性薄層 (17) が、互いに分離されている複数の角張ったセクタ (18) を含むことを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の転がり軸受。

【請求項 5】

前記電気伝導性薄層 (17) が、円状に連続しており、かつ、互いに中心の異なる 2 つの円で区画されていることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の転がり軸受。

【請求項 6】

前記基板 (16) が、回転輪 (3) のランド (3f) に押し付けられており、及び / 又

は、回転輪（３）に接合されていることを特徴とする請求項１～５のいずれかに記載の転がり軸受。

【請求項７】

前記基板（１６）が、回転輪の半径方向表面に取り込まれていることを特徴とする請求項１～５のいずれかに記載の軸受。

【請求項８】

前記回転輪の円筒状表面に取り付けられたエンコーダ支持体（２６）を含むことを特徴とする請求項１～７のいずれかに記載の軸受。